

◎司法書士に必要なのは、国語力?◎

～宮田さんからのアドバイス～



法律にかかわる仕事なので、教科としては社会が得意な人に向いていると思うかもしれませんが、司法書士に必要な力は、「読解力」と「文章力」、「論理的思考力」だと思います。読み書きするのが好きな人に向いているかもしれません。

まず、「読解力」は、法律を読み解くときに必要になります。相談にきた人が抱えている問題が、どの法律のどの条文にあてはまるのかを読み取るのです。

また、「文章力」と「論理的思考力」は、読み取った内容を、説得力のある意見や、書面にするために必要になります。ほかにも相手の話を聞き取る力、相手が納得のいくように話す力も大切になってくるので、国語に自信がある人は司法書士を目指してみるといいかもしれませんね。

プロに聞いちゃえ!!



司法書士になるには?

司法書士になるには、国家試験に合格する必要があります。この試験は、年齢や学歴に関係なく、だれでも受験することができます。ただし、法律に関しての専門的な内容が出題される試験なので、大学の法学部で法律を学んでいる人や、予備校や専門学校などで司法書士になるための勉強をしている人が受験することが多いようです。

国家試験に合格したら、まずはすでに司法書士として働いている人の事務所に入り、そこで働きながら実際の仕事を覚え、何年後に独立して自分の事務所を開くことが多いようです。

自分で事務所を開く場合は、日本司法書士連合会に登録し、事務所を開く地域の司法書士会に所属してからでないと、司法書士として仕事をすることができません。

ある程度の経験を積み、手続きを経て、正式な司法書士として仕事を始めることができます。

●法律に興味があるキミには、 ほかにもこんなお仕事をオススメ!●

弁護士、裁判官、検察官、行政書士、弁理士、海事代理士など

問 どのようにお仕事をしていますか?



事務所に相談にこられた方との打ち合わせの様子です。まずは、相手の話をていねいにじっくり聞きます。相談の内容に応じて、どんな対処法がよいか提案します。



登記に関する相談など、書面を作る場合は、パソコンで作成しています。書面を作る上で、役所などの関連機関へ調べに行くこともあります。



一言で法律といっても、相談にくる方が個人なのか法人(会社などの組織)なのか、またどういった内容の相談なのかによって、かわる法律が違います。すべてのケースに対応できるよう、法律に関する書物に目を通し、最善の解決策を探っています。

お仕事質問箱 司法書士編



法律に興味がある キミにオススメ!!

今月は 司法書士

宮田さんにいろいろ
聞いちゃうぜ!



宮田総合法律事務所(東京)代表
<http://www.legalservice.jp/>



今回は
法律のプロに
インタビュー
するよ!

司法書士の仕事は、基本的には後でトラブルが起きないように、法の専門家の立場から書類を作ることです。

たとえば、ある建物が売買され、持ち主が変わるとき、不動産登記の書面を作成する手続きが必要になります。この手続きは、必ずしも司法書士が携わらなければいけないわけではないのですが、後で問題にならないよう、専門家であるわたしたちが任せられるケースが多いのです。単に書類を作るだけではなく、このような手続きの前提となる事実・法律の調査や当事者の意思の確認などもしています。

また、百四十万円以下の金額に関するトラブルでは、代理人として法廷に立ち、依頼人のためにたたかうこともあります。ほかにも離婚や相続をめぐるトラブルなど、まずは相談の内容を聞いて、



どんなお仕事を
していますか?



このお仕事に
就きたいきさは?

法律と人をテーマにした外国の映画が好きで、弁護士にあこがれ、大学の法学部に進学しました。大学で学ぶうちに、弁護士以外の法律に関係する仕事を知り、最終的に司法書士を目指しました。学生のうちから司法書士事務所でアルバイトをし、試験に合格してからは、その事務所で正式に採用されました。その後独立し、今は自分の事務所で6人のスタッフとともに仕事をしています。

@フレンズの みなさんへ

自分の利益ばかりを追う仕事ではなく、人の役に立つ仕事は、すてきな仕事です。やりがいがあります。そういう仕事を目標としてほしいですね。

また、大人にならなくとも、学生のままでいいという人も多いようですが、大人になつてからのほうが楽しいこともいっぱいあります。大人になることを楽しみにしていると思います。

人の役に立つ仕事をしたと思うので、困っている人の話を聞き、問題を解決できたときに、うれしくなりますね。

法律のことがよくわからないために不安になっている人が多いので、話を聞き、アドバイスするだけで紛争を防ぎ、不安を解消できる場合もあります。笑顔で帰っていく姿を見ていると、こちらも笑顔になりますね。



このお仕事を
していて
うれしいことは?



このお仕事の
たいへんなところは?

問題を抱えている人たちの間に入り、第三者として和解に導く手助けをすることもあります。このように、街の身近な法律家として、弁護士に近い仕事もしています。

法律は、すべてのケースに対して答えてくれるような、万能なものではありません。相談にこられた方の望みをかなえてあげよう、いくらがんばっても、思うように救えないこともあります。そういうときは法の限界を感じて、苦しくなりますね。

プロの タイム スケジュール

出勤	8:30	来客との 打ち合わせ	12:00	昼食・休憩	13:00	外出	19:00
メールの確認と 返信	9:00	書類作成、確認	11:00			訪問先での 打ち合わせ	17:00
事務所に戻り、 スタッフとの ミーティング	10:00					メールの確認と 返信	18:00
書類作成、確認	11:00					お仕事終了	19:00
※日によっては 残業すること もある	12:00						